

## 町会のおゆみ

塔ノ山町会は、中野坂上駅北側の山手通りを挟む中央1丁目と2丁目を中心とした町会です。駅を出て、高層ビルの脇から宮下交差点にむけて緩やかな坂道をおりていくと右手に中野第十中学校、山手通りをはさんで左手には塔ノ山町会会館があります。十中に沿って小道に入ると、庚申堂、宝仙寺三重塔跡があります。その奥は、新しいマンションと古い家屋が立ち並ぶ住宅地です。30年前からはじまった中野坂上の再開発、道路拡張工事で、旧町会会館から現在3階建の町会会館へ生まれかわりました。鯉沼会長（21年）、田中会長（6年）、現松原会長の3代の会長のご尽力により、現在、会館とその周辺の整備も終わりました。この会館は町会行事の中心として、又、災害時には緊急避難場所としての機能もそなえ、地域の発展と安全に貢献しています。この地域は、むかし宝仙寺の地所で寛永年間に建設された三重の塔がありましたが、東京大空襲の時に焼失し、その記念として宝仙寺三重塔跡の石塔が立てられました。塔ノ山町会の名前はここからきています。この街は、新しいものと古いものが共存する不思議な街になっています。こうした環境の中で、塔ノ山町会は、様々な活動を行っています。春は、老若男女の集う「花見の会」と新入生を祝う会を実施。夏は、子供たちを中心に「ラジオ体操」と「花火大会」を行っています。花火大会は、毎回400人以上のご家族が参加する行事となり、マンションや個人の家では出来なくなった打ち上げ花火や大がかりな仕掛け花火等のご好評を頂いています。秋は、中野氷川神社の祭礼があり毎年、お神輿を出しています。担ぎ手は、近隣の方々だけでなく、広く希望者をつのり、人の繋がりによって構成されています。近隣にお住まいの外国人の方々にもご参加頂いています。東部まつり、みんなのひろば運動会等、当町会の中で実施される行事も多く町会を上げてご協力させて頂いています。冬は「年末福祉もちつき」「夜警」など、福祉と安全の活動を続けています。当町会は、1500世帯の中で約1000世帯が単身世帯で人口の流動が激しい地域でもあります。その中でも高齢者の割合が多くなっています。毎年9月～10月にかけて行っている「敬老のお祝い」は、各理事が高齢者の御宅を1件1件訪問させて頂き、ご近況をお伺いしながらお祝いをお渡ししております。ひとりひとり顔の見える活動を心がけるあまり、お話しが弾んで、なかなかお暇出来ない場合も多くあります。町会の活動を広く皆様に知って頂こうと「町会からのお知らせ」という会報を制作しています。毎月行われる理事会の報告と地域行事のご連絡など、毎月、班長さんを通じて町会員の方々に情報の提供をしております。理事は現在20名です。高齢化も進んでいます。これからは運営をして頂ける理事さんを増やすことが大切です。当町会は松原会長を中心に地域に密着した活動を行っています。多くの方々のご協力を頂けるよう今後一層努力していきたいと思っております。

